

震災についてお話を聞く会



1月12日、児童会主催で、震災についてお話を聞く会が行われました。

講師には、実際に釜石市の被災地に行かれた伊那市危機管理課の小牧学さんに来ていただき、写真を交え「まず、無事に生きること」、そのために必要なことは「判断力が大切」というお話しをしていただきました。

また、小牧さんが行かれた中学校では、校庭には未だにがれきの山があったり、音楽室のピアノが逆さまになったままだったりと、手つかずの状態であることに子どもたちは、大きなショックを受けたようでした。震災の影響は、まだまだ終わってなどいなかったのです。

その後、児童会長、副会長が司会をしながら「自分たちには何ができるのか。」についてみんなで話し合いました。「手紙を書く。」「本を送る。」「ビデオレターを送る。」「直接会いに行く」などの意見が出されました。

今後はこれらのことについてどのように実行していくか、さらにみんなで考え合っていこうと思います。

